

令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・地図の見方、地図帳の使い方、複数の資料を組み合わせる情報を読み取る方法を丁寧に指導したことによって、知識の定着と技能の習得を図ることができた。
- ・授業のめあてを明確にして、つかむ・調べる・まとめる活動を行い、自分の考えをもって話し合う活動を行うことによって、思考する力が高まった。
- ・単元の導入や課題設定の場面で、提示資料や発問を工夫することによって、関心・意欲を高めることができた。
- ・学習効果測定の高学年の経年比較では、年毎に標準スコアの伸びが見られ改善の成果が見られる。

(2) 課題

- ・学年が進むにつれて知識・技能の定着の割合が下がっていくため、単元に合わせた効果的な資料の掲示など、限られた時間の中で効率的に用語・語句の定着を図る。
- ・問題解決的な学習を通して、自分の考えをもち、友達と伝え合う活動を行うことによって、考える力や伝える力を高める。
- ・社会科見学などの体験的な活動や ICT の活用を通して、関心・意欲を高めると共に、実体験の伴う知識の習得を図る。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）（△上回っている、▽下回っている、≒同じ）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	目標値に対して ≒		
第5学年	目標値に対して △ 前年度比△	目標値に対して △ (第4学年時)	
第6学年	目標値に対して ≒ 前年度比 △	目標値に対して ≒ 前年度比 △ (第5学年時)	目標値に対して ≒ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・写真・グラフなどの資料を丁寧に読み取ることによって、事実に基づいた知識の習得を図ることができている。 ・単元のまとめでは、新聞づくりなどの活動を通して、資料を活用したり、学んだことを分かりやすくまとめたり技能を高めることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習問題設定後、各時間の学習問題を作り、問題解決型の学習を進めている。 ・資料などから分かること（事実）や見学などの体験を基に考えるようにしている。 ・考えたことを対話的な学ぶようにしている。 ・これらによって、思考力・判断力・表現力の向上が図ら 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の始めには、興味・関心がもてるように、具体的な資料を提示して、気付いたり考えたりしたことを話し合うことによって、単元を見通した学習への意欲付けを行っている。 ・社会科見学のなどの体験活動が、地域の社会的事象への関心を高め、知識習得への意

	れている。	欲付けとなっている。
--	-------	------------

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 概ね目標値を超え、基礎的な内容は理解できている。その中では、資料活用の技能の定着に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標値に対して同程度か上回っている。 資料などから分かること(事実)や体験を基に予想をたてたり、対話をしたりする活動を通して、思考力・判断力・表現力の向上が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標値に対して同程度か上回っている。 児童にとって、できるだけ身近な資料や内容から単元を始めることで、興味関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができるようにしている。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 写真・グラフなどの資料を丁寧に読み取ることによって、事実に基づいた知識の習得を図ることができている。 用語・語句の意味を社会的事象との関連で身に付けられるようにする。 単元のまとめでは、新聞づくりなどの活動を通して、資料を活用したり、学んだことを分かりやすくまとめたりする技能を高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習問題設定後、各時間の学習問題を作り、問題解決型の学習を進める。 資料などから分かること(事実)や見学など体験を基に考えるようにする。 自分の考えを対話的な学習や伝える相手を意識してまとめることによって、表現力を高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真やグラフなどの具体的な資料を提示して、気づいたり考えたりしたことを話し合うことによって、各時間の意欲付けを行っていく。 社会科見学のなど体験を通して、知識と地域の社会的事象を関連付け、知識習得への意欲や社会参画への意識を高めていく。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 地図帳や地球儀、統計などの教材・教具を頻繁に使用し、それらの使い方に習熟し、用語や語句を身に付けられるようにする。 地理的・時間的に直接触れることができない事物・事象は、デジタル教材を活用して知識の習得に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料などから根拠となる事実を読み取り、どんなことが分かるか考え、まとめる。 学習したことを身近な生活と関連させて表現することによって、考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を自主学習などで深く探求させていく。 導入を工夫したり友達との話し合い活動を通して考えを深める楽しさを感じたりすることによって、興味・関心の幅を広げる。